

きぼう

社会貢献活動「木望の未来プロジェクト」2019年度活動報告

全国で学習机天板 1,240 枚を交換、10年間で 14,631 枚寄贈 間伐材利用促進で自然環境の保全に貢献

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホームグループ（本社：東京都新宿区、社長：宮沢俊哉）は、木の家を提供する企業として子どもたちに木の素晴らしさを伝える「木望（きぼう）の未来プロジェクト」を実施しています。本活動は2010年より開始し、2019年度までに間伐材（※1）で製作した小学校学習机の天板累計 14,631 枚を寄贈しました。

当社指針として「ESG を行動の基本に」を掲げ、地域社会並びに環境に貢献する取り組みの一環として「木望（きぼう）の未来プロジェクト」を行ってまいりました。当プロジェクトは、次代を担う子どもたちへ「森のすごさ」「木の素晴らしさ」「物づくりの楽しさ」の理解を深めてもらうことを目的に、当社拠点近隣にある小学校を対象に、10年前より実施しています。間伐材を加工し製作した小学校学習机の天板（以下 天板）を小学校に寄贈し、当社従業員や大工が古い天板と交換。2019年度は計 1,240 枚の天板を寄贈しました。多くの小学校で木育授業「ふれあい授業」を行い、講演やカンナがけ体験、当社が世界で初めて開発したカンナ削りの「木のストロー」のワークショップなどを通じ、木材に直接触れることで木の温もりを知り、間伐による森林保全・減災など、自然環境を学ぶ機会としています。

間伐材を加工し製作した小学校学習机の天板交換

天板交換前の机



天板交換後の机「木ごころ机」



生活の様々な場面で“木を大切に作る気心”を伝えたいという思いから、天板を交換した机は「木ごころ机」と名づけています

木育授業「ふれあい授業」



大工さんのカンナ掛け実演に興味津々な児童達。近くで見ようと皆集まってきます。

ESG 経営を実践したこの活動は、自然環境の保全とともに地域の豊かな社会形成に貢献。これらを通して持続可能な開発目標である SDGs の達成を目指してまいります。

※1 間伐材：森林の木が成長するため間引き（木々の間隔を広くするため一部の木を伐採）された木材

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・西口（堀越：090-7843-6574／西口：080-8483-6963）

TEL :03-6302-5010 FAX :03-5909-5570 Email: aqura_pr@aqura.co.jp

●アキュラホーム HP <http://www.aqura.co.jp> ●木のストローHP <https://www.thewoodstraw.com/>

■ 木望の未来プロジェクト 2019 年度活動

～10 校で計 1,240 枚の天板を交換、12 校でふれあい授業を実施～

実施地域：埼玉県熊谷市、川越市、東京都武蔵野市、稲城市、神奈川県横浜市、茅ヶ崎市
千葉県習志野市、茨城県つくば市、静岡県浜松市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市
兵庫県加古川市、岡山県浅口市

■ 天板に“間伐材”を採用する理由

日本は国土の 67%が森林に覆われ、そのうち 4 割は人工林です。人工林の役割は木材を採ること以外にも、水源確保、自然災害防止、地球温暖化防止など多岐にわたりますが、昨今人工林の間伐が行われず荒廃が進んでいます。理由としては、間伐材※は細く未成熟材のため用途が限られることや、安価な輸入木材が多く出回ることによって需要が減少していることがあげられます。木を扱う当社はこうした状況を踏まえ、間伐材を積極的に採用することによって環境保全の一助となればと考えています。

■ ふれあい授業活動一例 熊谷市立石原小学校ふれあい授業

当社社員が講師となり、木育ノートをもとに森林と間伐の必要性や木の良さについて紹介。授業の後には、カンナがけ体験を実施。職人さんの使う大工道具に触れ、日本の技術力について、理解を深めました。

日 時： 2020 年 2 月 6 日(木)
場 所： 石原小学校（埼玉県熊谷市）
対 象： 5 年生 132 名
実施内容： 森林の大切さなどを伝える講演、カンナ掛け体験、
使用教材： 木育ノート（出版：財団法人 日本木材総合情報センター）



※木育ノート

■ ふれあい授業活動一例 みなとみらい本町小学校ふれあい授業

横浜市立みなとみらい本町小学校では、当社開発のカンナ削りの“木のストロー”についての木育授業や制作体験を行いました。木のストローは、子供たちが山の問題・海の問題・資源の問題について考えるきっかけとなるアイテムとして位置づけています。※2019 年 G20 サミット教育関連イベント（主催：文部科学省／共催：OECD、UNESCO 及び国際連合大学）の視察にも選ばれ、木のストローの木育授業を実施しています。

※2019 年 G20 サミット教育関連イベント：教育分野での国際協力の推進や、国際的に共通化・ボーダレス化する教育課題に対応するための教育改革などに役立てることを目的に、教育実務者会合、公開シンポジウム及び学校訪問を行ったもの。2019 年本イベントは、13 の国と地域から、教育省関係のハイレベル実務者 26 名が参加しました。



木のストローに込められた思いを子供たちに伝える様子



G20 サミット教育関連イベント視察の際の授業の様子

■ 木望の未来プロジェクト受賞歴

・グッドデザイン賞

2012年：「木望の未来プロジェクト」ベスト100に選出

・キッズデザイン賞

2011年：「木望（きぼう）の未来プロジェクト」～フューチャーアクション部門受賞～
木育を通して「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を、次代を担う子どもたちに伝えていくための活動。間伐材を使用した学習用机の天板を小学校に寄贈し交換する。

2012年：「井戸堀り大作戦～ガチャポンを現代に」
～子どもの未来デザイン リテラシー部門受賞～

井戸水を通して自然界での水の循環を相関的に考え、豊かな自然環境を未来へと繋いでゆく大切さを啓発。

■ カンナ削りの「木のストロー」受賞実績

①第29回地球環境大賞 農林水産大臣賞

主催：フジサンケイグループ（主管：産経新聞社 フジサンケイ ビジネスアイ）

後援：経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省
一般社団法人 日本経済団体連合会

②ウッドデザイン賞 <ウッドデザイン賞2019 優秀賞 林野庁長官賞>

主催：ウッドデザイン賞運営事務局

③グッドデザイン賞 <私の選んだ一品 -2019年度グッドデザイン賞審査委員セレクション選出>

主催：公益財団法人日本デザイン振興会

④キッズデザイン賞

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

⑤グッドライフアワード <環境アート&デザイン賞>

主催：環境省グッドライフアワード

⑥生物多様性アクション大賞2019 <グリーンウェイブ賞>

主催：国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)

後援：環境省 農林水産省 生物多様性自治体ネットワーク 朝日新聞社 共同通信社
日本経済新聞社 毎日新聞社

⑦間伐・間伐材利用コンクール <間伐推進中央協議会会長賞>

主催：間伐・間伐材利用推進ネットワーク / 後援：林野庁、間伐推進中央協議会

⑧持続可能な社会づくり活動表彰 <理事長賞>

主催：公益社団法人環境生活文化機構 / 後援：環境省

⑨ソーシャルプロダクツ・アワード

主催：一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会

<アキュラホーム会社概要>

社名 株式会社アキュラホーム 代表取締役社長 宮沢俊哉

所在地 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F

電話 03-6302-5001 (代) 創業 1978 (昭和 53) 年 10 月

資本金 9,314 万円 従業員数 1,271 名 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

ホームページ <http://www.agura.co.jp>